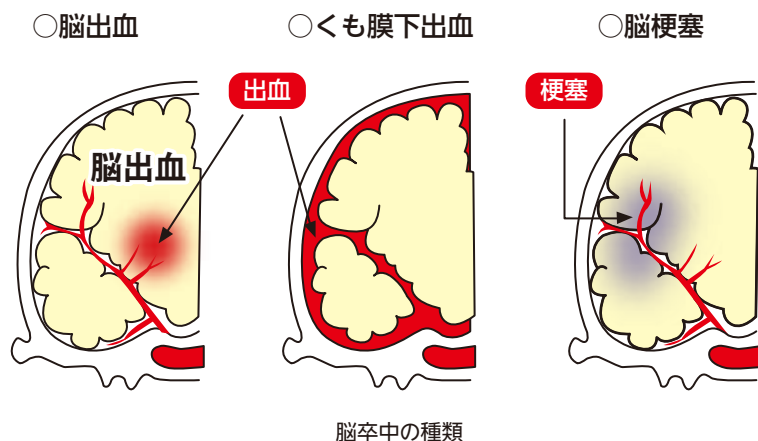


脳卒中とは

脳卒中は頭の中の血管に起こる病気で「がん」「心筋梗塞」「老衰」について、日本人の死亡原因の第4位、寝たきりになってしまう原因の第2位の病気です。

脳卒中には、脳の血管が破れて出血する「脳出血」「くも膜下出血」と、脳の血管が詰まる「脳梗塞」があります。



○脳出血

いろいろな原因で起こりますが、もっとも多いのは高血圧によるものです。

○くも膜下出血

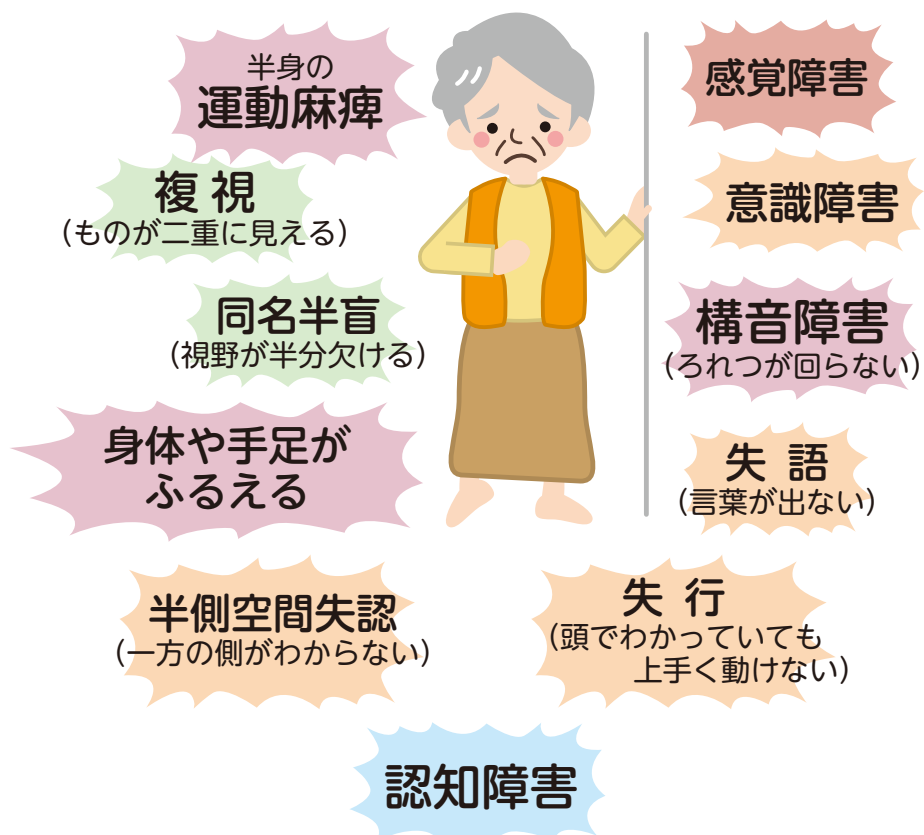
脳の表面にある「くも膜」という薄い膜と脳の表面との間には大きな血管が走っています。その血管に動脈瘤という膨らみができ、それが破裂する病気です。

○脳梗塞

脳の血管が細くなったり、血管に血栓(血のかたまり)が詰まったりして脳に酸素や栄養が送られなくなり、細胞が障害を受ける病気です。

脳卒中はさまざまな後遺障がいを引き起こす

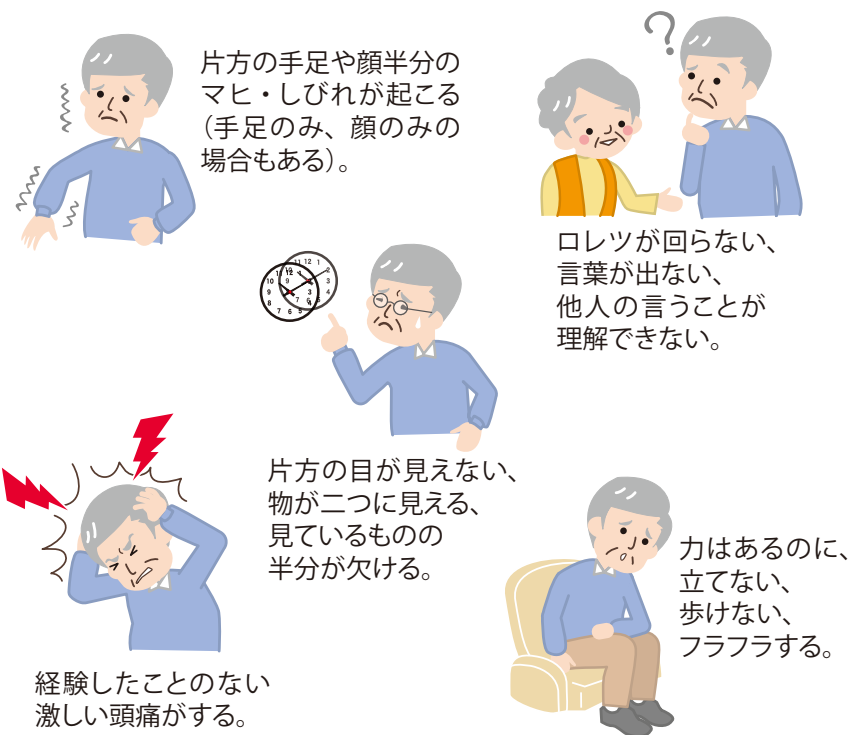
- 脳卒中になると脳が受持つ多種多様な心身機能の障がいが出現します。
- 障がいの回復には、長期にわたるリハビリテーション医療や介護が必要になります。



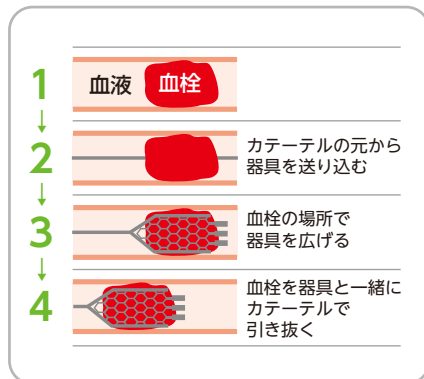
脳卒中の早期発見と対応

こんな症状があったら119番!

- 脳卒中の治療は時間との戦いです。
- 本ページに示すような症状があったら、ためらわずに119番、救急車を呼びましょう。
- 大切なことは「いつ、どこで、どんな状況であったか」を医師などの関係者に的確に伝えることです。
- 早期に発見し、早期に的確な治療ができれば回復の可能性が高くなります。
- ご本人だけでなく、ご家族も身体の変調に気をつけましょう。

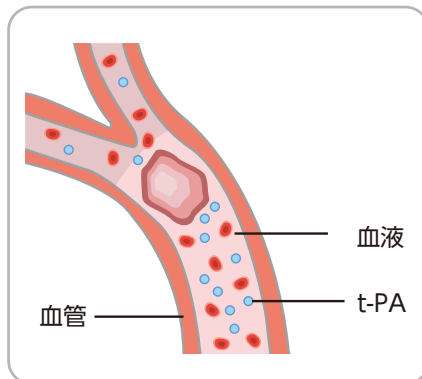


脳卒中の治療について



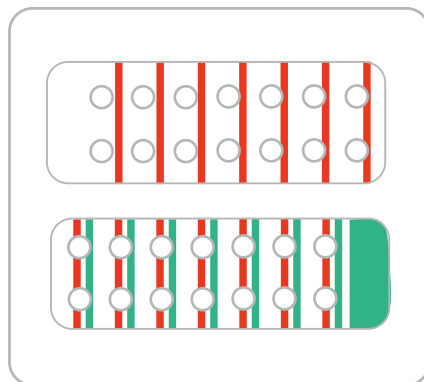
血管内治療

血管にカテーテルを入れて血栓を取る



t-PA治療(血栓溶解療法)

点滴で薬剤を注入し血栓を溶かす



投薬(抗凝固剤・抗血小板薬・脳血流量改善薬)

血液を固まりにくくしたり、脳の血流を良くするくすり



リハビリテーション

麻痺などの改善を目指すと共に、具体的な日常生活動作の工夫や練習、生活環境の調整などを通して、日常生活を送れるようになる
理学療法・作業療法・言語聴覚療法がある

脳卒中のリハビリテーション

脳卒中になると脳に損傷を起こすため様々な障害が現れます。それは後遺症となって残ることがあります。発症直後の治療として、医師による投薬などのほか、出来るだけ早期から身体の機能を回復するため、理学療法士等によるリハビリテーションを行うことが重要です。もちろん退院後も再発予防の治療とリハビリテーションを続けることが大切です。

